

外来がん薬物療法導入期患者における体組成異常と既存栄養評価基準との一致性の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

がん患者さんでは、栄養状態の悪化が治療継続や生活の質に影響することが知られています。当院では外来がん治療センターでの栄養評価として PG-SGA-SF (Patient-Generated Subjective Global Assessment Short Form)、体重減少率、CONUT 変法を用いていますが、近年は骨格筋量の低下や体液バランスの異常などを評価する体組成評価の重要性が注目されています。

本研究では、診療録や管理栄養士記録、体組成評価結果から得られた情報を用いて、体組成評価による体組成異常と既存の栄養評価基準との一致状況を検討します。また、両者の判定が一致しない患者さんの特徴を解析し、従来の栄養評価では把握しにくい患者さんを体組成評価によって見つけられる可能性について検討します。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

- ・2024 年 11 月～2025 年 10 月に外来がん治療センターにて、初発がんに対する一次治療として初回の点滴薬物治療を開始した方
- ・初回点滴薬物療法開始前または治療導入初期(初回～3 クール以内)に体組成評価を実施し、体組成評価日から 1 か月以内に管理栄養士による栄養評価を実施した方

使用する試料・情報

年齢、性別、がん種、ステージ、全身状態(ECOG PS)、栄養士記録(がん)(評価日、身長、体重、BMI、介入目的、PG-SGA-SF、体重減少率、CONUT 変法(Alb、リンパ球数、Hb))、薬剤師記録(レジメン名、クール数)、体組成評価記録(評価日、体重、ECW/TBW(体水分均衡)、除脂肪量、体脂肪率、SMI(骨格筋指数))、栄養士指導実績記録(がん部位、指導内容)

使用開始予定日：2026 年 8 月 31 日

研究予定期間

2026 年 8 月 31 日～2027 年 1 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 栄養部 榎本一実

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができます。

問い合わせ先	済生会熊本病院 栄養部 榎本一実 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
---------------	---